

IT日和 vol.6

パスワードE



イラスト
山本ユウカ



連載漫画ネタ募集のお知らせ

編集委員会では連載漫画用のネタを募集しております。

日常で感じた漫画化してほしい「IT あるある」ネタを以下の投稿フォームからお気軽に投稿してください。

単純なネタ、ストーリーのどちらでも結構です。またフォームの中でコマ割の希望を文章で書いていただいてもかまいません。

例：(説明：2のべき乗が好き)

1コマ目：受付番号 256 番, 2コマ目：お会計 1,024 円,

3コマ目：宝くじ 4294967296 (2の32乗), 4コマ目：上司から「会社辞めないで〜」(オチ)

連載漫画ネタ募集のお知らせ(IT あるあるネタ投稿用フォーム)

<https://www.ipsj.or.jp/magazine/itaruaru.html>



ラフ案の画像(簡単なものでかまいません)をお送りいただくこともできます。

画像の場合はお手数ですが、ネタの説明とともに情報処理学会 会誌編集部門(editj@ipsj.or.jp)までメールでお送りください。

みなさまからの楽しいネタの投稿をお待ちしております。

※ お送りいただいたネタは原案とし、作品の著作権は情報処理学会に帰属するものとします。

※ 採用された方には記念品を贈呈いたします(複数の方から同じネタの投稿があった場合は抽選とさせていただきます)。

2016 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として1年間(2016年4月～2017年3月)。*最長3年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」57巻5号～58巻4号、および年に4回 Web ページ (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) にて公開される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 2016年2月29日(月)必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係)

2016 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係)

E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業(サービス業) (b) 企業(製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関(小・中・高校・高専・大学・大学院など)
(e) 学生 (f) 学生(ジュニア会員) (g) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教職員(小・中・高校・高専・大学・大学院など) (h) 学生 (i) 学生(ジュニア会員) (j) その他

CONTENTS

Preface

Designing Real Things in the Internet World
Shunji YAMANAKA (The Univ. of Tokyo)

Special Features

Kawaii

- 116 **0. Foreword**
Michiko OHKURA and Midori SUGAYA (Shibaura Institute of Technology)
- 118 **1. Philosophy of "Kawaii" : Historical Perspective and Contemporary Significance**
Kaoru ENDO (Gakushuin Univ.)
- 122 **2. Background of the Cute Paintings in Edo Period**
Nobuhisa KANEKO (Fuchu Art Museum)
- 124 **3. Systematic Study on "Kawaii"**
Michiko OHKURA (Shibaura Institute of Technology)
- 128 **4. A Psychological Model of "Kawaii" as an Emotion**
Hiroshi NITTONO (Hiroshima Univ.)
- 132 **5. Interactive Characters with Lively Reaction and Cuddly Feeling**
Hironori MITAKE (Tokyo Institute of Technology)
- 136 **6. Lovotics : Love and Sex with Robots**
Adrian David CHEOK (Imagineering Institute, Malaysia and City Univ. London), David Neil Laurence LEVY (Imagineering Institute, Malaysia and Retro Computers Ltd.), Kasun KARUNANAYAKA (Imagineering Institute, Malaysia), Shogo NISHIGUCHI (Osaka Univ.) and Emma Yann ZHANG (City Univ. London)
- 141 **7. Physiological Responses Evoked by Watching Kawaii Images**
Ryota HORIE (Shibaura Institute of Technology), Miyuki YANAGI (Hewlett-Packard Japan, Ltd.), Tomomi TAKASHINA (NIKON Corp.) and Michiko OHKURA (Shibaura Institute of Technology)
- 145 **8. Fab Girls Project : "Kawaii" Things Development**
Midori SUGAYA (Shibaura Institute of Technology) and Miyuki YANAGI (Hewlett-Packard Japan, Ltd.)
- 148 **9. Kawaii Kansei Design Award Presented by JSKE**
Hiroko SHOJI (Chuo Univ.)
- 150 **10. ACM CHI 2015, Conference Report on Asian CHI Symposia "Japanese Culture and Kansei"**
Michiko OHKURA and Midori SUGAYA (Shibaura Institute of Technology)

Special Features

KDD Cup 2015

- 154 **0. Foreword**
Makoto YUI (Treasure Data K. K.)
- 156 **1. Winning Solution and Team Guideline without using any Data Analytics Platform**
Kohei OZAKI (Recruit Technologies Co.,Ltd.)

- 158 **2. Team Building Techniques for Data Mining Competition using Cloud Computing**
Daisuke NISHIKAWA (NS Solutions Corp.)
- 160 **3. An Organized Data Analysis Using Diversity of Team Member's Technical Background**
Kei YONEKAWA and Takuya AKIYAMA (KDDI R&D Labs. Inc.)
- 162 **4. Data Analysis Process and Merits of Student Team**
Ikki TANAKA and Shunnosuke IKEDA (Keio Univ.)

Articles

- 164 **Development of International Standard - Standardization of ISO/IEC 23008-1 (MMT) and Next Generation Broadcasting Systems -**
Shuichi AOKI (Science & Technology Research Labs., NHK)
- 172 **Recent Developments of Grammar Compression**
Yasuo TABELI (PRESTO, Japan Science and Technology Agency)

"Peta-gogy" for Future

- 179 **How Can We Employ IT as Tools for Teaching?**
Takashi MITSUISHI (Tohoku Univ.)
- 180 **Design Practice for Education to Cultivate Advanced ICT Human Resources - Perspective of Social Problem Finding and Solving -**
Ayumi KIZUKA (Future Univ. Hakodate)
- 184 **e-Portfolio 2.0 - e-Portfolios in the Day of Educational Big Data -**
Yasuhiko MORIMOTO (Tokyo Gakuhei Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 194 **Simultaneity in Discovery and Invention - Anecdotes from Parallelism and Concurrency -**
Yasuo MATSUYAMA (Waseda Univ.)

-
- 188 **Biblio Talk**
 - 190 **Conference Report**
 - 192 **Conference Report**
 - 195 **Mourning**
 - 198 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、11月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「学会の挑戦」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■普段と違う雰囲気新鮮でした。このまま、海外計算機学会シリーズにしてもいいのでは。(匿名希望)

小特集「暗号と社会の素敵な出会い」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■気になっていた暗号化問題をまとめて読めて良かったです。読みごたえがあり、どれも甲乙つけがたかったです。(高橋尚子)

■暗号の話は難しくなりがちですが、今回の特集は平易な記述で分かりやすかったです。ありがとうございます。(加藤雅彦)

■防御機構は複雑で強固になっているにもかかわらず、サイバー犯罪はますます増加し、凶悪化傾向にも歯止めがかかっていない状態だと思う。そんな中で、見えない縁の下で活躍している暗号技術の向上は重要である。個人的にはマイナンバーの使われ方が気になる。利用方法やメリットは分かりにくい、多様な権限が絡まった複雑な仕組みになっていることは分かった。使いやすい技術が求められていると感じた。(匿名希望)

■もやもや感が残りました。暗号だけでなく、プロトコル、実装と書かれているのは良かったのですが、改善にあたり全体の方向性が見えずつぎは感があるのは、システムがそうできているからなのでしょう。(匿名希望)

「1. マイナンバーと電子署名・電子認証」

■システムが安全に設計されていること自体は前提として、現在の議論の軸は「システムが安全でも人間が適切に運用できないことへの対処」や「万一セキュリティ事故が発生した場合の対処」に移ってきているはず。記事は政府答弁のようで、残念ながら情報技術者が読む内容と思えませんでした。(匿名希望)

■タイムリーで良かったと思います。使い方とか、使用の面では、色々な雑誌などで取り上げていますが、セ

キュリティに関する記事はないと思います。ただ気になったのは、p.1061のメッセージダイレクトを比較することで改ざんとなりすましの点でチェックできると書いてありますが、実際はこれだけだとなりすましはチェックできないと思います。なりすましのチェックは、第三者機関の認証局があり、送信者の公開鍵に署名をして電子証明書を作成することでできると思います。(櫻井秀樹)

■マイナンバーはまさにタイムリーな話題でした。

(阿部一晴)

「4. 楕円曲線暗号のキモチ」

■数学にも暗号にも疎い私でも、楕円曲線暗号の「キモチ」を理解できて面白かったです。数学という道具を用いて何を実現したいのかを、噛み砕いて大変分かりやすく説明していると思いました。(匿名希望)

■肝心の楕円曲線暗号について、もう少し詳しく記述してほしかった。(匿名希望)

「5. 暗号技術でお金を実現する」

■ビットコインのことが、少し分かりました。

(匿名希望)

解説「モバイルセンサネットワークにおけるデータ処理技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■動向について分りやすく網羅的にまとめられており良かった。IoTに向けてデバイス動向の観点や、コンシューマーとエンタープライズ動向の観点で特集を期待します。(生駒勝幸)

解説「Deep Learningの実装と現状」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■実装方法に踏み込んで良かった。Deep Learningを実際に実装する人にとっては最初の手がかりとして良かったのではないかと感じた。ただ「現状」というタイトルに関しては、各ライブラリを利用しているプロジェクト等の紹介だけであつたので、適していないと感じた。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：高校生も学会で発表しよう！」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■課題解決型の教育の苦勞と工夫が伝わってきて大変興味深かった。高校教育でこのような指導をできる教員が増えていくことと、学会で教育の実践の場が広く提供されていくことを望みます。(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：心を動かすアプリケーションをデザインする」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■他大学の演習には興味があるが、IPJSの会誌では、むしろ情報領域でない大学の演習紹介をされたほうが、独創的で興味がかきたてられる内容になるのではないかと。(匿名希望)

連載「ビブリオ・トーク：Bold : How to Go Big, Create Wealth and Impact the World」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■紹介された本に興味を持ち、読んでみようと思いました。(匿名希望)

会議レポートについては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■興味深く拝見しています。気になっている会議の様子が分かり、投稿しようか検討する際にも参考になります。対象の会議が増えると嬉しいです。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■大変興味深い内容で良かったです。紙面サイズが小さかったので、紙面サイズを大きくして、もっと深掘りして内容を充実してほしいです。(生駒勝幸)

■興味深かった。女性の目の付けどころなど具体例が面白く、今後に向けて、ぜひ大学教育でも上手く

磨いてほしい。(匿名希望)

連載漫画「IT日和」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■訴求したい読者像が今1つイメージできません。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■IoTについて、研究レベルや企業の取り組みなど、市場が形成される前に特集を期待します。(生駒勝幸)

■OS, ミドルウェア, アプリケーションの各レイヤでのOSSと商用ソフトウェアの比較記事(特集)を希望します。(西澤 格)

■やさしい英語で書かれた論説を掲載してはどうでしょうか。(水野光朗)

■特集などでは一般的ではないカタカナ語やローマ字語を避ける、説明を付けるなどするとより多くの人に読みやすくなるのではと思います。(匿名希望)

■コンピュータ将棋プロジェクトについて、もう少し詳細なまとめ・ふり返りの記事を期待します。(阿部一晴)

【本欄担当 中川香織, 尾張正樹/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	デジタルプラクティス「人工知能の実践的活用」特集への論文投稿のご案内 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0704s.html	2月5日(金)		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-W.html	2月19日(金)		
	論文誌「ヒトとモノを中心としたセキュアで信頼できる社会に向けて」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-Z.html	2月29日(月)		
	論文誌「社会を繋げるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-C.html	3月31日(木)		
	論文誌「ダイバーシティ社会に向けたコラボレーション支援とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-D.html	4月1日(金)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-E.html	5月9日(月)		
1月15日(金)	高度交通システム (ITS) 2016 シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its2016.html		定員になり次第	日本化学未来館
1月18日(月) ~	Annual Meeting on Advanced Computing System and Infrastructure (ACSI2016) http://acsi.hpcc.jp/2016/		当日可 事前割引締切: 1月7日	九州大学医学部 百年講堂
1月20日(水)	第210回システム・アーキテクチャ・	11月2日(月)	当日のみ	慶應義塾大学
1月19日(火) ~	第174回システムとLSIの設計技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc210sldm174.html			日吉キャンパス
1月21日(木)	第200回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim200.html	11月3日(火)	当日のみ	大阪大学
1月22日(金)	第97回グループウェアとネットワークサービス・第15回コンシューマ・デバイス&システム第12回デジタルコンテンツクリエイション合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn97cds15dcc12.html	11月20日(金)	当日のみ	肥後銀行天草支店 会議室
1月21日(木) ~	第156回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al156.html	11月27日(金)	当日のみ	作並温泉 湯の原ホテル
1月22日(金)	第166回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci166.html	12月1日(火)	当日のみ	関西学院大学 梅田キャンパス
1月21日(木) ~	第225回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl225.html	12月10日(木)	当日のみ	株式会社ミクシィ (渋谷)
1月22日(金) ~	東海支部主催講演会「情報工学が切り開く医療分野」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋工業大学
1月23日(土)	第109回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch109.html	12月14日(月)	当日のみ	国立情報学研究所
1月27日(水)	ソフトウェアアジア2016 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/		1月21日(木)	一橋大学一橋講堂会議室 /学術総合センター 国立情報学研究所
2月4日(木)	ウィンターワークショップ2016・イン・逗子 http://www.sigse.jp/2016/			湘南国際村センター
2月4日(木) ~	第18回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle18.html	12月25日(金)	当日可	日本女子大学 目白キャンパス
2月5日(金)	第162回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg162.html	12月5日(土)	当日のみ	国立情報学研究所 (NII)
2月6日(土)	第133回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce133.html	12月22日(火)	当日のみ	東京農工大学
2月8日(月) ~	第71回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip71.html	12月25日(金)	当日のみ	京都佛科大学 二条キャンパス
2月9日(火)	第92回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm92.html	12月18日(金)	当日のみ	沖縄セルラー電話(株)
2月13日(土) ~	第108回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro108.html	12月24日(木)	当日のみ	東京大学 駒場キャンパス
2月14日(日)	第136回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os136.html	1月12日(火)	当日のみ	理化学研究所
2月19日(金)	第110回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus110.html	1月13日(水)	当日のみ	相愛大学 本町キャンパス
2月26日(金)	第78回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・第49回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb178ubi49.html	12月25日(日)	当日のみ	東京理科大学 森戸記念館
2月28日(日) ~	第153回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc153.html	1月8日(金)	当日のみ	道後温泉ホテル椿館
2月29日(月) ~	インタラクション2016 http://www.interaction-ipsj.org/2016/			科学技術館 (東京都千代田区)
3月1日(火)	第201回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim201.html	12月25日(金)	当日のみ	金沢工業大学
3月1日(火) ~	第166回マルチメディア通信と分散処理・	1月6日(水)	当日のみ	明治大学
2月29日(月) ~	第72回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps166csec72.html			駿河台キャンパス
3月1日(火)	第17回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt17.html	1月7日(木)	当日のみ	京都大学学術情報 メディアセンター
3月3日(木) ~	第32回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot32-event	1月8日(金)	当日のみ	虹の松原ホテル (佐賀県唐津市)
3月3日(木)				
3月4日(金)				

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月6日(日)	第157回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al157.html	1月8日(金)	当日のみ	電気通信大学
3月7日(月)～ 3月8日(火)	第135回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is135.html	1月8日(金)	当日のみ	東京電機大学 東京千住キャンパス
3月7日(月)～ 3月8日(火)	第64回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its64.html	1月15日(金)	当日のみ	金沢工業大学 扇が丘キャンパス
3月7日(月)～ 3月9日(水)	第167回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci167.html	1月25日(月)	当日のみ	早稲田大学
3月8日(火)～ 3月9日(水)	第107回数理解モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps107.html	1月12日(火)	当日のみ	山口湯田温泉山口健康 づくりセンター
3月8日(火)～ 3月9日(水)	第35回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi35.html	1月12日(火)	当日のみ	電気通信大学
3月10日(木)～ 3月12日(土)	情報処理学会 第78回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/	11月17日(火)	2月10日(水)	慶應義塾大学 矢上キャンパス
3月11日(金)	国際AIプログラミングコンテスト SamurAICoding2015-16WorldFinal http://samuraicoding.info/		当日可	慶應義塾大学 矢上キャンパス
3月14日(月)～ 3月15日(火)	第191回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se191.html	1月20日(水)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
3月24日(木)～ 3月25日(金)	第211回システム・アーキテクチャ・第175回システムとLSIの 設計技術・第40回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2016) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc211sladm174emb40.html	1月13日(水)	当日のみ	福江文化会館/ 勤労福祉センター
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/			富山大学 五福キャンパス



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月15日 人材募集情報 (Vol.57 No.1)
- 12月15日 2016年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集
- 12月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.57 No.1)
- 11月25日 論文誌「社会を繋げるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集 論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■自然科学研究機構国立天文台

募集人員 技術職員（係員相当）1名（任期なし（定年60歳））
 所属 国立天文台 天文データセンター
 職務内容 (1)国立天文台の情報ネットワークシステムの運用と機能向上、(2)ネットワーク利用者への支援、(3)外部機関との連携・調整業務
 応募資格 大学・高等専門学校卒業、またはそれと同等以上の学歴を有する方。天文学に関する専門知識は問いません。ICTオペレーションに必要な基礎力・応用力を有する人材を求めます
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 提出書類 下記Webページをご覧ください
 応募締切 2016年1月29日（正午必着（日本時間））
 送付先 応募書類をE-mail添付で下記宛に送付
 宛先：E-mail: apply-eng20160129@nao.ac.jp 件名：「天文データセンター技術職員 応募」
 照会先 総務課人事係 E-mail: apply-eng20160129@nao.ac.jp Tel(0422)34-3658
 その他 提出書類等、募集内容詳細が国立天文台のWebページ「採用情報」（<http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>）の「国立天文台天文データセンター 技術職員（係長相当）募集」にあります。ご応募の前に必ずご確認ください

■(株)ジェイアール総研情報システム

募集人員 ソフトウェア技術開発職 若干名
 応募職種 鉄道事業における輸送計画システム分野を中心とした新しいアルゴリズムや先端的なソフトウェアの技術開発職。具体的にはORやAIなどを駆使した運行管理やダイヤ作成、交通ネットワーク分析/経路探索、踏切や列車前方監視などの画像処理、測定データの信号処理・統計処理などを行う技術開発職
 応募資格 2016年4月またはそれ以前に入社可能な方で、OR、AI、グラフ理論、デジタル信号処理、画像処理などの知識やプログラム経験をお持ちの方
 応募締切 2016年3月末
 照会先 〒186-0001 東京都国立市北1-7-23 国立ビル3F (株)ジェイアール総研情報システム 企画営業本部 採用担当
 E-mail: kikaku@jrjsi.co.jp Tel(042)580-6682
 ※エントリーいただく際は、上記E-mailアドレスに履歴書と職務経歴書（学生の方は現在取り組んでいる研究概要等をA4用紙1枚程度）を送付ください。郵送可
 その他 Webページ：<http://www.jrjsi.co.jp>

ソフトウェアジャパン 2016 開催のご案内

『人工知能が 2020 年を変える』

<http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/>

開催日時：2016年2月4日（木） 9：30～18：45 [開場・受付開始9：00～]

開催会場：一橋大学 一橋講堂会議室／学術総合センター 国立情報学研究所（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

*東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A9 出口）徒歩 3 分

主催：一般社団法人 情報処理学会

協賛：一般社団法人 情報サービス産業協会、一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人 電子情報技術産業協会、先端 IT 活用推進コンソーシアム、一般社団法人 電子情報通信学会、一般社団法人 日本ソフトウェア科学会、国立研究開発法人 科学技術振興機構、国立情報学研究所、国立研究開発法人 情報通信研究機構、一般社団法人 データサイエンティスト協会、一般社団法人 人工知能学会、一般社団法人 電気学会、一般社団法人 照明学会、一般社団法人 映像メディア学会、日本計算機統計学会、公益社団法人 日本技術士会、一般社団法人 日本統計学会、一般社団法人 日本数学会、日本計量生物学会、情報計算化学生物学会、特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会（一部予定）

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、独立行政法人 情報処理推進機構

概要：ソフトウェアジャパン 2016 では、「人工知能が 2020 年を変える」をメインテーマに、最近、急速に注目を浴びつつある人工知能技術に焦点をあて、人工知能技術がどのように社会を変えていくかを取り上げていきます。基調講演には、コンピュータ将棋など、人工知能分野の第一線で研究されている、公立はこだて未来大学の松原仁先生に人工知能の最近の動向について講演していただきます。そのほか、自動走行車の研究や、金融機関や医療分野など事業や専門家による実用化が進む IBM Watson の概要、人工知能がビジネスをどう変えていくかなど、多様な人工知能に関する話題を取り上げ、社会に与えるインパクトについて、議論していきます。本イベントは、CITP『CPD プログラム受講証明書』発行対象イベントです。

参加費：

	申込区分	事前申込（税込）	当日価格（税込）
午前：IT フォーラムセッション	不問	無料	無料
午後：メインセッション	1. 情報処理学会正会員・賛助会員	6,000 円	7,000 円
	2. 関連学協会・協賛団体の正会員・賛助法人会員	8,000 円	9,000 円
	3. 上記 1、2 以外の一般参加者	11,000 円	12,000 円
	4. 学生 一律（社会人学生は対象外）	1,000 円	1,000 円
	5. ジュニア会員（懇親会参加は 1,000 円）	無料	無料

参加申込：標記の Web サイトから事前申込をお願いします。

参加申込締切：2016年1月21日（木） *メインセッション、IT フォーラムセッションとも定員になり次第締切

問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail: event@ipsj.or.jp

■メインセッションプログラム（13：00～18：45）[会場：一橋講堂会議室]

13：00～13：05	Opening
13：05～16：45	第1セッション：キーノートセッション
13：05～13：45	基調講演：「人工知能は世の中をどう変えるか」 松原 仁（公立はこだて未来大学 システム情報科学部複雑系知能学科 教授／人工知能学会 会長）
13：50～14：30	招待講演（1）「Robot of Everything ～ZMP で取り組む自動運転技術～」 景山 浩二（株式会社 ZMP 新規事業推進室 室長 自動運転技術統括フェロー）
14：35～15：15	招待講演（2）「オープン・サービス・イノベーションで加速する KNOWLEDGE INTEGRATION」 柴崎 辰彦（富士通株式会社 インテグレーションサービス部門 戦略企画統括部 統括部長）
15：20～16：00	招待講演（3）「質問応答システム Watson とその実用化」 武田 浩一（日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事）
16：05～16：45	招待講演（4）「IoT ビジネスの過去・現在・未来」 谷 直樹（株式会社 NTT ドコモ 法人ビジネス本部 IoT ビジネス部長）
17：05～18：05	第2セッション：パネル討論「人工知能は 2020 年の世界をどう変えるのか？」
司 会：中田 登志之（情報処理学会 ソフトウェアジャパンプログラム委員会 委員長／東京大学大学院理工学系研究科）	
パネリスト：松原 仁（公立はこだて未来大学 システム情報科学部複雑系知能学科 教授／人工知能学会 会長） 景山 浩二（株式会社 ZMP 新規事業推進室 室長 自動運転技術統括フェロー） 柴崎 辰彦（富士通株式会社 インテグレーションサービス部門 戦略企画統括部 統括部長） 武田 浩一（日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事） 谷 直樹（株式会社 NTT ドコモ 法人ビジネス本部 IoT ビジネス部長） 野田 五十樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報研究部門 総括研究主幹）	
18：15～18：40	第3セッション：ソフトウェアジャパンアワードセレモニー
18：20～18：30	受賞スピーチ（1）「誰でも使える自然言語処理技術を目指して」 工藤 拓（グーグル株式会社 ソフトウェアエンジニア）
18：30～18：40	受賞スピーチ（2）「調整中」 猪子 寿之（チームラボ代表）
18：40～18：45	Closing
18：50～20：25	情報交換会（懇親会）／デジタルプラクティス論文賞表彰式

■ IT フォーラムセッションプログラム (09:30 ~ 12:00)

<p>サービスサイエンスフォーラム 「共創型サービスが関係者のコンピテンシーとリテラシーを向上させる」</p> <p>【セッション概要】 サービスビジネスの大きな悩みは、サービスは利益を出しにくいことである。お客様から妥当な対価をいただくためには、提供するサービスに価値がなければならない。ところがサービスの価値は、交換価値、使用価値、経験価値、知覚価値、文脈価値、感性価値などがあり、とても分かりにくい。そこで、本フォーラムではサービスの価値について議論を深めてきた。その結果、サービスの価値を決めているのは、「サービスの成果の大きさ」、「サービスプロセスの良さ」、「顧客の個別的な事前期待への対応度」、「サービス品質の良さ」の4つの要素であることが分かってきた。この大胆な仮説を講演とパネルディスカッションで議論する。また、昨年のサービスサイエンスフォーラムで会場から強い要望があった「サービスの価格はどうやって決めればいいのか」についても本フォーラムで果敢に議論してみたい。</p>
<p>ユニバーサルデザイン協創フォーラム 「Barcode-Talker Projectのこれから～目が見えなくても中身がわかる商品パッケージを目指して～」</p> <p>【セッション概要】 目の不自由な方が、まとめ買いしてきた商品や、棚の奥にしまってあった缶詰、いま、まさに空けようとしているペットボトルの中身がなんであるかを、空ける前に知ることができたら、どれだけ生活が楽しくなるだろう。こんな着想から、視覚障害者が自らバーコードをスキャンすることによって、人の目を借りることなく商品情報を得ることを可能とする取り組みが、情報処理学会創立50周年にあたる2010年、UD協創フォーラムを中心にスタートしました。</p> <p>そして創立55周年を迎えた本年、端末の読み取り性能は向上し、情報は充実し、そして、商品パッケージにもバーコードの触知加工がなされるようになり、視覚障害者が自らバーコードを読み取り商品情報を得ることが、にわかに実用性をおびてきました。</p> <p>本セッションでは、この5年間を振り返るとともに、他の先端技術を含む次の5年間を展望します。ハードウェア業界、データベース業界、そして商品パッケージ業界からの多数のご参加をお待ちしています。</p>
<p>コンタクトセンターフォーラム 「経営に貢献するコンタクトセンター～進化のステップとその将来像～」</p> <p>【セッション概要】 本セッションでは、これまで進めてきたコンタクトセンターの経営貢献についての検討内容を概観し、どうしたら経営に貢献できるコンタクトセンターへ進化できるかその道筋を探る。他方、今後コンタクトセンターを取り巻く環境は、大きく変わることが予想される。労働人口の減少や人の領域に迫る人工知能の出現、「おもてなし」に代表されるお客様の求める価値の変化、これらの影響や課題を踏まえて、コンタクトセンターの将来像や経営貢献の方向について皆さんと議論する。</p>
<p>ビッグデータ活用実務フォーラム 「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～500人大集会：そのツールと応用～」</p> <p>【セッション概要】 本セッションは午後のメインセッションの導入と位置づけ、人工知能、ロボット、自然言語処理などへの展開も踏まえて考察します。本セッション「ビッグデータ活用実務フォーラム」は、「ビッグデータ：機械学習とデータマイニングの最前線～500人大集会：そのツールと応用～」と題し、機械学習およびデータマイニングツールであるR、Python、Sparkなどその最新動向についてご紹介し、ビジネスやアカデミアでの機械学習およびデータマイニングツールの利活用促進と情報共有を行うことを目的に企画します。さらには、応用編として医療、農業への応用に関して、スパコンを用いた数値モデリングと予測分析、農業ITとビッグデータ解析の展開について議論します。なお、このセッションはニコニコ動画を通じて全世界に向けて放映されます。</p>
<p>CITP フォーラム 「CITP（認定情報技術者）の活動と役割」</p> <p>【セッション概要】 CITP（認定情報技術者）に認定された技術者によるコミュニティの活動の一環として、ITフォーラムセッションを開催する。当コミュニティでは、技術者同士の交流を通じた自律的な質の向上、社会提言、外部の審議会・委員会等への参画、情報分野における教育・人材育成活動などを含むさまざまなプロフェッショナル貢献活動、ピアレビューによる高レベル情報技術者の評価等を実施する計画である。本セッションでは、CITPの代表者10余名によるライトニングトーク（5分間程度の短時間発表を連続するプレゼン形式）と聴衆も巻き込んだパネル討論を通じて、CITPの問題意識の共有や今後のコミュニティ活動方針を議論する。</p>
<p>ユニバーサルデザイン協創フォーラム [展示] 「見えなくても中身がわかる!! バーコードを用いた視覚障害者向け商品案内」</p> <p>【展示概要】 調整中。</p>
<p>JST 科学技術振興機構（関連団体） 「CREST・さきがけ「ビッグデータ基盤・ビッグデータ応用」成果報告会」</p> <p>【セッション概要】 ビッグデータの高度な統合利活用による社会的・経済的な価値創造が期待されています。平成25年度からスタートした2つの研究領域では、ビッグデータの複数ドメインに共通する本質的課題を解決し、さまざまな分野のビッグデータの統合解析を可能にする次世代基盤技術と、ビッグデータの利活用により大きな社会的インパクトを生むようなさまざまな研究分野との協働によるアプリケーション技術の創出・高度化を目指しております。今回の成果報告会では、平成25年度、26年度に採択された研究者による最新の研究成果をご紹介します。</p>
<p>AITC 先端 IT 活用推進コンソーシアム（関連団体） 「協働プロジェクト『空気を読む家』」</p> <p>【セッション概要】 インターネットやスマートフォンの普及によって、さまざまな先端ITが人々の生活に密着した存在となりつつあります。そこで、先端ITの活用推進活動を行うAITCでは、先端ITの1つである「Deep Learning」と「IoT」に注目し、これらの技術、およびその組合せの有効性を確認するための実証システムを構築します。本実証システムは、『空気を読む家』というコンセプトのもと、身近な人々の普段の生活の中において先端ITを活用するもので、実証システムの構築・評価を通じて、これら先端ITを実際に活用するための提案・提言を行うこと目指しています。</p>

情報処理学会 第 78 回全国大会 イベント企画のみ聴講参加「無料」！！

事前予約申込はこちらから⇒ <http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/index.html>

第 78 回全国大会 聴講参加・講演論文集・懇親会事前予約の御案内 『超スマート社会への扉』

大会会期：2016年3月10日（木）～12日（土）
大会会場：慶應義塾大学 矢上キャンパス（横浜市港北区日吉 3-14-1）
共催：慶應義塾大学

情報処理学会第78回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集DVD-ROM・冊子」ならびに「懇親会参加」の事前予約申込受付を開始いたします。今回の全国大会では、**第1～3 イベント会場・特別会場において開催される招待講演・特別講演企画、イベント企画のみを聴講希望の場合には、大会聴講参加費を会員・非会員、一般・学生を問わずすべて「無料」とさせていただきます。**

イベント企画のみ聴講希望の方は、大会 Web ページから事前予約申込みを頂く際「大会イベント企画限定聴講参加」の方にお申込みください。通常の一般セッション・学生セッションも聴講希望の場合には、聴講参加費は「有料」となりますので、「大会共通聴講参加」の方にお申込みください。皆様どうぞお問い合わせの上お申込みください。

事前予約申込受付期間：2015年12月9日～2016年2月10日

招待講演・特別講演企画【聴講参加無料】：招待講演3件、基調講演1件、特別講演1件を予定しております。

招待講演-1	10日（木）16：40～17：10 特別会場 [藤原洋記念ホール] 「How To Verify That Software and Systems Development Products Are Correct and Safe」 Roger U. Fujii (IEEE Computer Society President)
招待講演-2	10日（木）17：10～17：40 特別会場 [藤原洋記念ホール] 「演目・未定」 Wen Gao (China Computer Federation CEO)
招待講演-3	10日（木）17：40～18：00 特別会場 [藤原洋記念ホール] 「Looking beyond borders」 Leon Strous (IFIP 会長) 10日（木）18：00～18：10 特別会場 [藤原洋記念ホール] 「The role of the Youth in the International ICT Sector - An IFIP Perspective」 Yasas Abeywickrama (InterYIT 代表)
基調講演	11日（金）13:00～14:00 [第1 イベント会場 創想館 東館 マルチメディアルーム] 「超スマート社会の実現に向けて」 栗原 潔 (文部科学省 研究振興局 参事官 (情報担当) 付専門官)
特別講演	12日（土）15：30～17：30 特別会場 [藤原洋記念ホール] IPSJ-ONE

イベント企画【聴講参加無料】：各イベント企画では、その分野の最前線で活躍されておられる方をお招きし講演、パネル討論等の開催を予定しております。

第1 イベント会場 創想館・東館 B2F マルチメディアルーム	10日 9：30～12：00	「2015年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」
	10日 13：00～15：30	「マイナンバー制度は万全か？ サイバー攻撃の脅威への対策と指針」
	11日 9：30～12：00	「ポスト・ディズニー（ピクサー）のコンテンツ産業の行方 ― 今後10年のコンテンツ産業を支えるメディア技術は何か ―」
	11日 14：00～15：00	「Deep Learning とこれからの AI 研究」
	11日 15：20～17：50	「4th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2015-16 World Final」
	12日 9：30～12：00	「2020年に向けた音声翻訳の研究開発」
	12日 13：00～14：00	「ポスト「京」スーパーコンピュータの開発概要」
	12日 14：00～15：00	「量子コンピュータ」
第2 イベント会場 11棟 1F 31教室	10日 10：00～12：00	「～コンピュータバイオニアが語る～「私の詩と真実」」
	10日 13：00～15：30	「今後の大学の一般情報教育はどうあるべきか」
	11日 9：30～12：00	「知のコンピューティング」
	11日 15：20～17：50	「会誌「情報処理」公開編集委員会」
	12日 9：30～12：00	「オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か？ ―デジタルプラクティスライバー」
	12日 13：00～15：00	「教育と学習における ICT の活用の新時代」

第3 イベント会場 厚生棟 3F 大大会議室	10日 9:30～12:00	「論文必勝法 ～一流論文のための羅針盤～」
	10日 13:00～15:30	「産業界におけるIoTの動向と日本の戦略」
	11日 9:30～12:00	「実践的情報教育協働ネットワーク enPiT の現状と新たな分野への適用」
	11日 15:20～17:50	「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」
	12日 9:30～12:00	「ビッグデータとプライバシー」
	12日 13:00～15:00	「自動車の自動走行・高度運転支援技術開発の最前線」
特別会場	12日 13:00～15:00	「ジュニア会員特別企画」

一般セッション・学生セッション【聴講参加 有料】：

約1,400件の研究成果発表があります。大会3日間でおおよそ30会場を使用して、190あまりのセッションが生まれ、活発な発表、議論・討論が行われます。

懇親会【有料】：

毎回多数の方にご参加をいただき親睦を深めております。

開催日時：2016年3月10日（木）18:30～20:30（予定）

開催会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 2F クイーン・アリス ガーデンテラス日吉

■聴講参加費・講演論文集代・懇親会参加費（税込）

申込種別		予価（2/10迄）	定 価
大会イベント企画のみ聴講参加		無料	無料
大会共通聴講参加（正会員）		3,100円	4,000円
大会共通聴講参加（正会員）*DVD-ROM 1枚付き		8,300円	9,000円
大会共通聴講参加（一般非会員）		6,200円	7,000円
大会共通聴講参加（学生会員・学生非会員・ジュニア会員）		無料	無料
懇親会参加 一般（正会員・一般非会員）		4,000円	5,000円
懇親会参加 学生（学生会員・学生非会員）		2,000円	3,000円
懇親会参加 学生（ジュニア会員）		1,000円	1,000円
講演論文集分冊（個人・法人問わず）		12,400円	14,000円
講演論文集セット *DVD-ROM 1枚付き（個人・法人問わず）		58,700円	63,000円
講演論文集 DVD-ROM（個人）		9,000円	9,000円
講演論文集 DVD-ROM（法人）		57,000円	57,000円
送料	セットおよび4冊以下	-	800円
	5冊以上	-	1,100円
	DVD-ROM 1枚につき	-	600円

■留意事項

※「大会イベント企画のみ聴講参加」は、招待講演企画・イベント企画（大会第1～3イベント会場・特別会場で行われるイベント企画）・各種展示のみ聴講参加可能です。一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

一般セッション・学生セッションも聴講参加希望の場合には、大会共通聴講参加（有料）の方にお申込みください。

※「大会共通聴講参加」は、一般セッション・学生セッションを含む大会すべてのセッションの聴講参加が可能です。

※DVDは学生限定・大会会場限定で学割会場販売（5,000円）いたします。

※講演論文集、DVD-ROM共に、大会開催前の事前発送は致しておりません。

受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。

※講演論文集またはDVD-ROMを郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。

※講演参加申込の方は聴講参加申込は不要です。聴講参加をお申込みになりますと二重申込となりますのでご注意ください。

■聴講参加および講演論文集の予約申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

第78回全国大会公式 Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/index.html>

■問合先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

一般社団法人情報処理学会 事業部門

電話 (03) 3518-8373

FAX (03) 3518-8375

E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 29,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※3 社限定
フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>
— [広告] —

次号（3 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集：震災 5 年特別企画」災害科学と情報技術

震災と情報／リアルタイムハイブリッドシミュレーション—構造実験における計算モデルと物理モデルの融合—／リアルタイム津波浸水・被害予測・災害情報配信の展望／東日本大震災からの復興まちづくりと地理情報システム—ジオデザインの紹介—／災害に強い医療情報システム

「小特集」音楽情報処理による障害者支援

福祉機器アプリケーションと音楽情報処理／音楽を楽しむ聴覚障害者—情報処理技術でもっと楽しもう—／盲ろう者の触って歌うことを支援する—触覚フィードバックによる音声ピッチ制御—／身の回りを「聴こえる化」する—視覚障害者のための可聴化技術—／多様な利用形態に柔軟に対応する自動伴奏リハビリ支援システム／音楽で継続する発話／発声を鎮める

報告：安西祐一郎先生（本会元会長）インタビュー

解説：シンギュラリティ問題が社会に与える影響—FIT2015 イベント企画 パネルシンポジウム報告— ……須川賢洋

学会活動報告：IFIP—情報処理国際連合—近況報告 ……村山優子

教育コーナー：べた語義

連 載：ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

会議レポート：第五回災害コミュニケーションシンポジウム／ACM SIGUCCS 2015 参加報告— Make Your Sun Shine —



【特集：スマートコミュニティ実現のための高度交通システムとモバイル通信】

- 特集「スマートコミュニティ実現のための高度交通システムとモバイル通信」の編集にあたって 齋藤正史 他
- Gamification mechanism for enhancing a participatory urban sensing: survey and practical results Yutaka Arakawa 他
- 輝度付き多次元正規分布地図を用いた屋内外位置推定手法 伊藤誠悟 他
- 安定センシング区間検出に基づく3次元歩行軌跡推定手法 梶 克彦 他
- スマートフォンを用いた歩行者デッドレコニングのための進行方向推定に関する研究 星 尚志 他
- 自動車アドホックネットワークにおける道路網構造およびコネクティビティに基づくジオルーティング手法 小原啓志 他
- 狭域交通情報共有のための車車間通信における車両位置情報に基づく効率的な中継転送方式の提案 吉川 潤 他
- Trip-Extraction Method Based on Characteristics of Sensors and Human-Travel Behavior for Sensor-Based Travel Survey Hiroki Ohashi 他
- 粒子フィルタを用いた都市域人流推定方式 浅原彰規 他
- GreenSwirl: 交通渋滞の緩和を目指した信号制御および経路案内方式の提案と性能評価* 徐 家興 他
- Review on Kernel based Target Tracking for Autonomous Driving Yanming Wang 他
- 簡易運動行動測定装置によるふらつき運転評価 隅田康明 他
- 中規模都市圏を対象としたデマンドバスを用いる階層型協調交通システムの提案 上原和樹 他
- ストロングビジットーンを用いたアドホックネットワークのアクセス制御方式 SBT-RC の提案と評価 伊藤智洋 他
- Dynamically Estimating the Number of WLAN to Improve the Throughput and Fairness Takumi Sanada 他
- 複数のウェアラブルセンサを用いた歩行動作による本人認証法の精度向上 今野慎介 他
- マイクロブログを用いたイベント情報抽出 山田 渉 他

【特集：創造する時代のコラボレーション支援とネットワークサービス】

- 特集「創造する時代のコラボレーション支援とネットワークサービス」の編集にあたって 小林 稔
- RGB3色LEDの加法混色を用いた色変調可視光通信の提案と非常時通信への適用 塚田晃司 他
- 複数ショップの利用要因を抽出する行動モデリング手法 高屋典子 他
- 複数ビデオソースの動的な構成を可能とするライブ中継用ミキサー 橋本浩二 他
- プライバシー保護と犯罪防止を両立する監視カメラシステム 小林健人 他
- 車群通信による隊列走行の編成方法の提案 大西亮吉 他

- Use It Once, Then Use It As Usual: 家具の動作制約を利用したモーションマッチング手法 宮田章裕 他
- ロボット会議：物理的実体を介した身体動作の提示によるソーシャルテレプレゼンスの強化 田中一晶 他
- 映像による非同期疑似共食会話における食事映像の同調の効果 野口康人 他
- 身体映像の部分的実体化によるソーシャルテレプレゼンスの強化 大西裕也 他
- 初学者向けプログラミング演習のための探索的プログラミング支援環境 Pockets の提案 横原絵里奈 他
- ターンテイキング構造に着目したワールドカフェ型のダイアログの計測と評価 根本啓一 他
- マイクロタスクによる線画イラスト生成手法 佐々木孝輔 他
- スター上の任意の座標位置にデジタル情報を関連付け可能なコンテンツオーサリングツールの開発 服部 哲 他
- 組織知識継承のための共有フォルダからの活動単位抽出アプローチ 齊藤典明 他
- フォトウォークとSNSの利用による運動継続支援システムの提案と適用 伊藤淳子 他
- An ontology-based framework for semantic reconciliation in humanitarian aid in emergency information systems Pasinee Apisakmontri 他
- 東日本大震災時のOpenStreetMapのクライシスマッピングにおける基本的な地図データの整備に関する調査分析 早川知道 他
- 日常利用可能なオフライン対応型災害時避難支援システム“あかりマップ”の実環境における利用可能性* 浜村朱里 他

【一般論文】

- 巡回セールスマン問題に対する並列コンサルタント誘導型探索アルゴリズム 榎原博之 他
- FPGAによるSAT問題のプリプロセッサの実現 鈴木将之 他
- A Formula-based Approach for Automatic Fault Localization of Multi-fault Programs Si-Mohamed Lamraoui 他
- トラッキングスキャナとモーションセンサを用いた高精度屋内位置推定手法の提案* 高藤 巧 他
- LPCQP: Lightweight Private Circular Query Protocol with Divided POI-table and Somewhat Homomorphic Encryption for Privacy-Preserving k-NN Search Yasuhito Utsunomiya 他
- 話題に対する多様な感情に基づくWebページ検索システム 若宮翔子 他
- 実世界における学習の質と注意配布行動に関するマルチモーダル分析手法の提案 岡田昌也 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.7 No.1 (Jan. 2016)

【特集:3D プリンタがもたらす、革新ものづくりによる新たな世界】

【解説】

- レーザ焼結技術を用いた 3D プリンティングとその造形材料
前田寿彦

【特集号招待論文】

- 積層造形と切削加工を融合したハイブリッド複合加工機
山崎 拓
- 金属 3D プリンタによる造形金型の成形事例—金属 3D プリンタ「OPM250L」の特長とプラスチック成形金型への応用事例—
澤崎 隆
- タービン製造における 3D プリンタの活用
原口英剛
- 3D プリンタ技術の生体材料製造に向けた活用
西村直之

【特集号投稿論文】

- 3次元印刷による手術可能な患者モデルとそれを用いた手術手技研修支援システムの開発
山下樹里 他

- 《インタビュー》原口英剛氏 インタビュー「3D プリンタがもたらす、革新ものづくりによる新たな世界」

【一般投稿論文】

- 個人情報影響評価の有効性評価
坂本 誠 他
- 対中外交政策に対するオープンソース・ビッグデータ活用の可能性—対日抗議事象発生前後の Chinese PULSE の観察—
嶋津恵子 他
- オフィスワーカーのストレス量と PC 操作ログ特徴量の重回帰分析—PC 操作ログ分析サービスの応用に向けて—
鳥羽美奈子 他



会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

◆ ホテル（5～53%割引）

JR ホテルグループ、グランビスタホテル&リゾート、ダイワロイヤルホテルズ、東急ホテルズ、阪急阪神第一ホテルグループ、ホテル法華クラブ、プリンスホテル、都ホテルズ&リゾート、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

◆ レンタカー（最大 55%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、タイムズカーレンタル

◆ パック旅行（3～5%割引）

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光

◆ UC 丸善アカデミックカード（10%割引）

◆ パーシティウェブ コンピュータソフト（教育機関所属の方はアカデミック価格で）

会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**

App Store アプリで 購読できます！



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

会誌「情報処理」, 「デジタルプラクティス」アプリは
 iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から
 無料でダウンロードできます

会誌

- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で 12,800 円 (1 冊あたり約 1,000 円) でお得です。
 1 カ月：1,700 円 / 6 カ月：9,800 円 / 1 年：12,800 円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- DP アプリを一度ダウンロードすれば、最新号が自動で送られてきます。

購読
無料!!



App Store | 発行 | Inetada Inc.
 月刊 情報処理 (情報処理学会) | Inetada Inc. |
 購読 | 登録 | ログイン | ログアウト | 購読 |
 スクリーンショット | iPhone | iPad

購読料目録
 トップ APP 内購読

1. 月刊 情報処理 2015年1月号	¥1,700
2. 月刊 情報処理 2015年2月号	¥1,700
3. 情報処理 2015年1-2月号	¥480
4. 月刊 情報処理 2015年3月号	¥1,700
5. 月刊 情報処理 2015年4月号	¥1,700
6. 月刊 情報処理 2015年5月号	¥1,700
7. 月刊 情報処理 2015年6月号	¥1,700
8. 月刊 情報処理 2015年7月号	¥1,700
9. 月刊 情報処理 2015年8月号	¥1,700
10. 月刊 情報処理 2015年9月号	¥1,700

まわりの方にも
ご紹介ください!



アプリのダウンロードはこちら (無料)

会誌「情報処理」



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

デジタルプラクティス



<https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejitarupurakutisu/id923233022?mt=8>

お問合せは 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel: (03) 3518-8371

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 出版活動 (学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本) の発行、電子図書館への掲載
- 各種行事の開催 (研究発表会、全国大会、FIT (情報科学技術フォーラム)、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウェアジャパン他)
- 教育活動 (大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者 (CITP) 認証、教員免許更新講習)
- 国際交流 (IFIP への加盟、海外学協会との提携)
- 標準化活動
- その他の活動 (各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他)

■会員になるには

入会金 (正会員のみ) と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証 (賛助会員除く) をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

- 名誉会員: 当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
- 正会員: 当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員
- 学生会員: 学校に在学中の個人
- ジュニア会員: 小学生～大学学部3年生以下の学生 (会費無料)

賛助会員

当学会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます (ジュニア会員は電子版のみ)。

特集: プログラミング言語 Ruby の最新動向/暗号と社会の素敵な出会い/ビッグデータがもたらす超情報社会/ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング研究の最新動向/クラウドソーシングの現状と可能性/あつちの未来/宇宙システムのつくりかた/画像認識革命/宇宙開発への情報技術の貢献/障がい者・高齢者と築く社会参加支援/いまさら聞けない! コンピュータの数学/学会イベント支援/初等中等教育における ICT の活用/私の大学時代/OSS に見る IT の最新動向/ウェルネスのための ICT、他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」を年4回発行しています (オンライン版)。

特集: 教育と情報通信技術 (ICT) (4月刊行) /ビッグデータ分析をビジネスに活かす (7月刊行) /UX が拓く新しいデザインの世界 (10月刊行) /3D プリンタがもたらす、革新ものづくりによる新たな世界 (1月刊行)

3 電子図書館 (情報学広場) で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格 (7,000 円お得) で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2015年度は「イノベーション最前線:押し寄せる変革の本質を探る」をテーマに、6回開催しました。

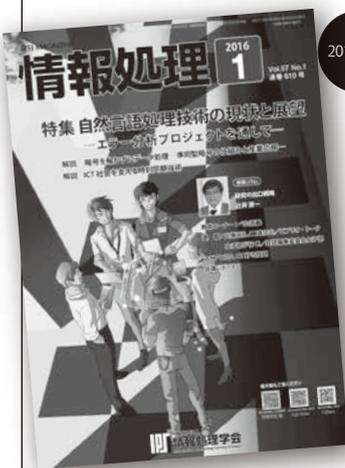
5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得) や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギュラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2015年度

ホット
トピックス

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため

情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため

将来を担う人材の育成に資するため

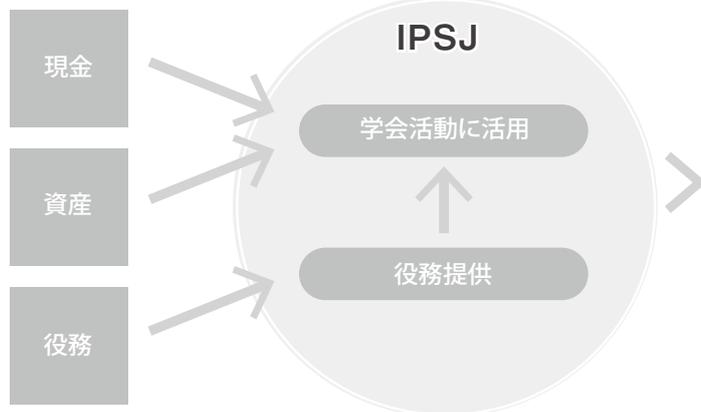
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

*ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

IPSJ 寄付

会員他寄付



活用先

教育・育成

情報入試 子ども教室 パソコン教室

社会貢献

表彰

国際活動

規格標準化

情報資産保存

学会諸事業

その他



詳しくはこちら

<http://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ soumu@ipsj.or.jp

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。
 また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約17.5円!

基本価格 350,000円
 (税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員
 (基本価格の40% Off!) **210,000円**
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の80% Off!) **70,000円**
 (税込 75,600円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【2月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他..... 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) 学生（ジュニア会員） (k) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2016年2月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム：ネット社会とモノのデザイン..... 10-1- []
- 特集：かわいい
1. 「カワイイ」の哲学 10-2- []
 2. かわいい江戸時代絵画の背景 10-3- []
 3. かわいい人工物の系統的研究 10-4- []
 4. "かわいい"感情の心理学モデル..... 10-5- []
 5. いきいきと動くかわいいインタラクティブキャラクタ 10-6- []
 6. Lovotics: ロボットとの愛と性..... 10-7- []
 7. かわいい画像を見たときの生体反応 10-8- []
 8. Fab Girl: 感性を活かしたものづくり 10-9- []
 9. かわいい感性デザイン賞 10-10- []
 10. ACM CHI 2015 日本文化と感性 (Asian CHI Symposia "Japanese Culture and Kansei") 開催報告 10-11- []
- 小特集：KDD Cup 2015
1. 国際チームにおけるモデリング手法とチームガイドライン 10-12- []
 2. 組織に創発現象を起こすクラウド型データ分析環境 10-13- []
 3. メンパの技術的バックグラウンドの多様性を活かした組織的データ分析 10-14- []
 4. 学生チームによるデータ分析プロセスとメリット 10-15- []
- 日本発、国際規格の作り方..... 10-16- []
- 文法圧縮最前線..... 10-17- []
- べた語義：授業の道具としての情報技術の役割は? 10-18- []
- べた語義：新しい高度 ICT 人材育成のためのデザイン演習..... 10-19- []
- べた語義：e ポートフォリオ 2.0 10-20- []
- ピブリオ・トーク：理科系の作文技術..... 10-21- []
- 会議レポート：UIST 2015 参加報告 10-22- []
- 会議レポート：SIGGRAPH Asia 2015 参加報告 10-23- []
- IT 好き放題：発明と発見における同時性..... 10-24- []
- 会誌編集委員会女子部..... 10-25- []
- 連載漫画：IT 日和..... 10-26- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答

答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] かわいい：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 [13-2] KDD Cup 2015：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。
 （スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）の編集・査読、DP レポート、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）、著作権
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP / トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会、情報処理教育委員会、ア krediyeteeeshyonyon 対 応、認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyoo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、IT フォーラム、ソフトウェアジャパン、その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザリーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IP SJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html	ISO/IEC JTC 1 での情報技術の標準化業務 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

平安時代に書かれた清少納言の枕草子にすでに記載があると言われる「かわいい」という感性は、江戸時代の浮世絵や根付などに見られるように、広く日本文化を、その底流として支えてきたように思われます。しかしこれが人工物の「価値」であると認識されるようになってきたのは、ごく最近です。すでにほかの機会でもご披露したことですが、かわいい物大好き少女だった私自身、朝寝坊の長男のために買った大音量目覚まし時計が「かわいくない」という理由で使用を拒否されたときに、「機能より『かわいい』という感性の方が重要」というパラダイムシフトに目が覚めました。

以来、日本感性工学会をホームグラウンドとして「かわいい」に関する研究活動を展開してきましたが、最近ではほかの研究者による関連研究も増え、また横幹連合（横断型基幹技術研究団体連合）でも関連本が企画・発行される等、徐々に研究分野として根を張ってきたように思われます。

このような中で、大学の学科の同僚である菅谷みどり先生にお声かけいただき、本誌で特集を一緒に担当させていただくことになりました。読者に「かわいい」を取り巻く諸分野の研究を網羅的に紹介する目的で、多くの非会員を含む方々に執筆をお願いしましたが、幸いにも、ほとんどの皆様に執筆をご快諾いただきました。その結果、常にチャレンジな姿勢の本会の会誌にふさわしい内容の特集が編集できたのではないかと考えております。読者の中には、執筆者に男性が多いことに驚かれる方もおられるかもしれませんが、このことこそ、男女共通して「かわいい」という感性価値を認める時代になっていることの証左と考えております。この特集をきっかけとして、さらに多くの皆様が「かわいい」の研究に興味を持ち、この研究のさらなる推進にご支援を賜ればと思っております。

(大倉典子/本特集ゲストエディタ)

データマイニングは企業の成長に欠かせない技術となり、科学者だけでなく広く一般的に利用される技術となりました。世界的にも同じ風潮である中、データマイニングの権威ある世界大会のKDD Cupで日本人参加者が上位入賞を果たしたことは大変喜ばしいことです。このような競技大会の日本人参加者はまだ少なく、多くの方にその存在自体と参加の意義を知っていただきたく本小特集を企画しました。企画当初、1つの大会にフォーカスしたことで各入賞チームの取り組みに同じような内容が含まれることを懸念していました。しかし大変興味深いことに、同じ課題を解いているにもかかわらず、4チームがまったく異なる取り組みで大会に挑んでいたのです。そのためそれぞれの取り組みはとても特徴的か

つ深い内容となりました。同じ課題に対するほかの人の取り組みを知る機会はなかなかありません。四苦八苦しなごらさまさまざまなデータマイニング技術を学ぶだけでなく、終了後にほかのチームの異なる手法が学べる点は、大会に参加する大きな意義の1つであると感じました。それだけに、記事2ページ内で解説するため内容を圧縮していただいた点が残念であり、ページ数設定については反省すべき点です。データマイニングの競技大会はKDD Cupに限らず多く開催されています。本小特集をきっかけにさまざまな競技大会が盛り上がることを願っています。最後に、この場をお借りして著者の方々や阅读いただいた編集委員に御礼申し上げます。

(斉藤和広/本小特集エディタ)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約120名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」57巻2号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …………… 表2 日立製作所 …………… 表4
 オーム社 …………… 表2対向
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも

各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

 **CyberAgent**

(株) サイバーエージェント

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

 **RECRUIT**

(株) リクルートホールディングス

Google™

グーグル (株)

 **GREE**

グリー (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



情報サービス産業協会



NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)



(株) フォーラムエイト